



# 大野ヶ原

平成28年11月

大規模校氏家中で、基本的な生活習慣・学習習慣の定着をめざして、今もっとも力を入れていることが「**時を守り、場を清め、礼を正す**」です。

- 時を守り・・・遅刻しないで登校し、授業開始チャイムの前に着席しよう！
- 場を清め・・・ゴミを散らかさない、ゴミがあったら拾おう！
- 礼を正す・・・気持ちのよいあいさつをしよう！

## 関東大会に出場できるということ・・・

10・11月と秋の部活動大会や各種コンクールが続き、我が氏中生も例年に増して精一杯持てる力を発揮してくれました。出場したすべての部や生徒の活躍を紹介したいところですが、残念ながら紙面に限りがあります。今回は特に、関東大会出場の駅伝部と吹奏楽部の活躍を紹介します。

まず、駅伝部。この夏からの苦しい練習メニューを走破し、昨年に続き地区大会で男女アベック優勝を果たしました。そして、今月12日、**氏家中学校**ののぼり旗がはためく中、那須野が原公園周回コースで県北の強豪校に劣らない力走を見せ、女子が昨年の8位を上回る3位、男子も昨年の6位を上回る4位入賞、念願の関東大会出場を果たしました！昨年、惜しくも4位入賞に届かず悔し涙を流した経験をバネに、猛暑の夏から連日の厳しい練習に耐えての栄冠です。

女子主将の酒井優菜さん(3-4)の「関東大会出場という目標があったので、自主的に練習に取り組みました。一人一人がしっかりと役割を果たし襷をつなぐことができ、最高の結果が出せました」、男子主将の深井琉聖君(3-1)の「今年こそ関東大会に行きたいと思ってがんばってきたので本当にホッとしました。女子の3位に負けないように、高瀬先生に恩返しができるようにがんばりました」とのコメントからは、決して平坦ではなかった関東大会への道のりがうかがえました。

駅伝部は、来月4日(日)、山梨県南アルプススタジアム及び櫛方総合公園特設周回コースでの関東中学校駅伝競走大会に出場します。

続いて吹奏楽部。この夏の県吹奏楽コンクールでは惜しくも金賞を逃し東関東大会出場に手が届きませんでした。夏の総体以降、部活動を引退していく運動部の3年生を横目に、TBS子ども音楽コンクールに向けて猛練習を続けました。そして、去る9月24日(土)、佐野市文化会館での県大会で和楽器を多用した難曲「あかつきの舞」を好演、見事に東日本優秀演奏発表会出場権を獲得しました。

「県代表という自覚をもち、先生と保護者の方々への感謝の気持ちを音楽、行動、態度で伝えたいです」という、部長の伏見友葉さん(3-8)の言葉に、大会出場に向けた決意のほどがうかがえます。

吹奏楽部は、来月3日(土)、千葉県・習志野文化ホールでの東日本優秀演奏発表会に出場します。



(堂々3位入賞の女子チームです)



(昨年を超える4位入賞の男子チーム)



(緊張から解放された演奏後の記念撮影です)

地区大会を越えて、更に高いレベルの中学生と競い合うという素晴らしい舞台が県大会であり、関東大会です。競い合う中で「自主性や創造性」が磨かれる、また、「根性」(最近、めったに聞かれなくなりました)が鍛えられる舞台です。その意味で、一つよりは二つ、二つよりは三つ、人に誇れる自分の得意技を、より高いレベルで自分のものにしていく氏中生が、少しずつ増えてきている・・・と期待しています。

## コーヒーブレイク...



第2屋内運動場が完成し、さぞかし静かな落ち着いた学習環境になった・・・と思いきや、今度は県道氏家一大田原線の拡幅工事がスタートし、生徒の登下校や授業・部活動に少なからず影響が出ています。とは言っても、車社会の昨今、道路が整備されその利便性が高まることは、利用者にとってありがたい話ではありますが。

そんなわけで氏家中学校では、校庭西側の塀及び敷地が削られ、ヒマラヤスギやプラタナスの巨木が切り倒されることとなってしまいました。この写真のように、懐かしい校庭の景観が大きく変化しています。何ともスッキリしたような、寂しいような・・・。





